

親子自然体験教室「イノシシ大解剖！やっかいもののヒミツをさぐれ！」 実施報告

実施日時：2024年10月14日（土）9：30～16：00

場 所：広島県呉市川尻町 野呂山ビジターセンター

講 師：菊間 馨 氏（広島県自然体験活動アドバイザー）

岡田 芳幸 氏、木村 勝美 氏（広島県猟友会呉地区支部）

参加者：11家族26名（大人：11名、子供：15名）

天 候：晴れ

内 容：田畑を荒らしたり人に危害を加えたりするなどやっかいものとされるイノシシ。昨今瀬戸内海周辺でも生息域を拡大させ、豚熱やダニ運び屋になるなど人の暮らしに最も影響を与えている生き物の一つです。
当該行事では、イノシシの痕跡探しや罠のかけ方、解体作業を通して、イノシシとはどんな生き物なのか？どんな問題があるのか？野生生物とどうつきあっていけばよいのか？など親子で考えました。

【実施風景】



オリエンテーション

イノシシ解体単独は初企画！

正直応募があるのか不安でしたが、予想を上回る多くの方に応募いただきました。単に解体体験をする、ということではなく、イノシシの生態や人との関わりについて学び、考えてもらうため、最初にしっかりと目的を全員で確認しました。



イノシシってどんな生き物？

まずは皆がイノシシについて知っていること・知らないことをシェア。実は昼行性、臆病、犬並みの嗅覚、雑食、多産、自然界では意外と寿命が短いことなどが分かりました。

その他講師の菊間さんからは、きていもく奇蹄目・ぐうていもく偶蹄目の違い、食べ物の違い＝胃袋の構造の違いなど、なかなか聞けないマニアックな話もうかがいました。



イノシシの^{こんせき}痕跡さがし

オリエンテーション後、菊間さんナビの下、痕跡さがしをしました。^{おくびょう}臆病なため、昼行性なのに夜に活動することが多いイノシシですが、痕跡からどんな活動をしているのか見るすることができます。



掘り返し

ここは畑か?!というほど、野呂山にはたくさんの掘り返し（エサを探した跡）がありました。よくミミズや根っこを食べると聞きますが、セミの幼虫やカエル、季節性のあるキノコやタケノコなど食べられるものは何でも食べます。



足跡

^{くうていもく}偶蹄目がはっきり分かる4つの^{ひづめ}蹄の跡もありました。足跡の大きさから子どもイノシシが複数通った跡のようです。



食べ跡

イノシシの食べ跡か?!と思われましたが、イノシシはこんな上品な食べ方はしません！菊間さん曰く、イノシシはイガごと食べることもあるため、痕跡そのものが残らないこともあるそう。別の哺乳類が食べた跡のようです。



罝わな

痕跡さがしの後は猟師の岡田さんから、イノシシの捕まえ方を教わりました。こちらは罝い罝。やぶの中にあるのかと思いきや、イノシシは明るい場所を好むため、周辺のやぶは刈るそう。



罝に入ってみよう！

まずは子供たちが罝の中へ。中に入った感想は「意外と広い」「サルなら登って逃げられそう」など。イノシシがワイヤーにあたると、扉が落ちる仕組みを教えてくださいました。



大人を閉じ込めてみよう！

続いて大人が罝の中へ。今度は実際にワイヤーを外して閉じ込めました。ガシャーン！！と大きな音を立てて閉まると緊張感が走ります。子供たちが扉を持つと「おっも！！」イノシシは50kg以上の石も鼻で持ち上がられるので、扉もしっかりした作りです。



箱罝

ジビエが食べられる国民宿舎で昼食を食べた後は、いよいよ解体…の前に、子供たちも箱罝で捕獲（され？）体験をしました。

「閉まるよー！いくよー！」と覚悟できていても、ガシャーン！！と閉まるとドキッとします。捕まったイノシシの心中をお察します。

※危険なので罝には絶対入らないください。



止め刺し

猟師の木村さんは日々農地で罾にかかったイノシシを捕獲しています。こちらは島で捕獲された40kgのイノシシ。手に持っているのは止め刺し用の槍です。「一発で刺してすぐ抜かんと、振り回されて大ケガするけんね」と、猟師さんのリアルな話も聞きました。



いよいよ解体作業！まずは皮はぎ

吊り下げて皮をはぐ場合は足からはいでいきます。皮ふと肉の間にナイフを滑らせるように少しずつはいでいきます。



最初は切り方がぎこちなかった子も、コツをつかむとスムーズにはげるようになりました。



何を確認？

切り離した頭部で何かを確認。

「鼻がやおい！」（※やおい=柔らかいの広島弁）
地面を掘り返したり、50kgの石を持ち上げたりすると見聞きしていたので、鼻の柔らかさに一同驚いていました。



皮はぎ終了

1時間ほどで皮はぎを終え、吊り下げていたイノシシを下ろして、台に移動させます。シュールな場面に、一同歓声が上がります。



肉の解体

ここからが本番！と言えるほど、難しい作業です。骨や関節など身体のしくみがわかっていないとさばけません。猟師さんの説明を受けながら、脚を一本ずつ切り離していきました。



大人だって難しい作業なのに、切れん！分からん！もうやらん！と、途中で投げ出さず、解体に挑む姿はとても頼もしかったです。約2時間半と長丁場でしたが、無事2体の解体作業を終えることができました。



イノシシ大解剖大成功☆

痕跡さがしから始まり、イノシシの捕まえ方に解体の仕方まで、イノシシづくしの一日でしたが、やっかいもののヒミツは探れたでしょうか。

身近にいる野生生物や人との関わりについて、親子で考えるきっかけになれば嬉しいです。

皆さん、お疲れさまでした！